

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MGI030-03

会場:201A

時間:5月25日 09:00-09:15

JIS A 0205 主題属性コードを付与した20万分の1地質図幅集の出版 The publication of the digital geological maps of Japan 1:200,000 with JIS A 0205 subject attribute codes

西岡 芳晴^{1*}, 鹿野 和彦¹, 巖谷 敏光¹, 野々垣 (眞坂) 淑恵¹
Yoshiharu Nishioka^{1*}, Kazuhiko Kano¹, Toshimitsu Iwaya¹, Annie Yoshie Nonogaki (Masaka)¹

¹ 産業技術総合研究所地質調査総合センター

¹ Geological Survey of Japan, AIST

近年、地質学的情報を包括的に提供する図として地質図の需要が大きくなっており、その標準化が急務となってきている。産業技術総合研究所地質調査総合センターは、これまで数値地質図の標準化へ向け取り組んできており、いくつかのJIS(日本工業規格)の制定にも貢献してきた。それらの中で、JIS A 0205:2008「ベクトル数値地質図 - 品質要求事項及び主題属性コード」(日本規格協会, 2008)は、地質図で使用される記号、色、模様、地層・岩体区分、用語についてのコードを規定しており、一般的な地質時代、岩石、鉱物、化石等を網羅している。これらのコード設計においては国際基準を最大限に取り入れるように考慮されている。また、コード表はそれぞれのコード体系が持つシソーラスを反映させて作成されており、柔軟なコード付け、コード検索に対応できる。

今回我々は、20万分の1数値地質図幅集「北海道北部」、同「北海道南部」の改訂に伴い、地質凡例にJIS A 0205のコードを付与し、CD-ROMに同梱した。また、付与したコードをより簡便に利用するために20万分の1地質図幅毎にKML形式ファイルを作成して添付した。このKML形式ファイルでは、マウスクリックによる凡例情報の表示、凡例毎の表示/非表示切り替え等の地質図を閲覧する上での基本的な操作が行える。KML形式はOGC(Open Geospatial Consortium)による国際標準規格であり、Google社のGoogle Earthのほか、多くの地図ビューアソフトで閲覧可能である。

引用文献

日本規格協会(2008) JIS A 0205:2008「ベクトル数値地質図 - 品質要求事項及び主題属性コード」。日本規格協会, 142p
地質調査総合センター(2010a) 20万分の1数値地質図幅集「北海道北部」第2版
地質調査総合センター(2010b) 20万分の1数値地質図幅集「北海道南部」第2版

キーワード: 標準化, KML, コード, JIS, 地質

Keywords: Standardization, KML, code, JIS, geology